

ニュージーランド金融政策（2020年11月）

FLP（貸出向け資金供給プログラム）の導入を発表

2020年11月11日

マイナス金利政策の導入が次なる焦点に

RBNZ（ニュージーランド準備銀行）は11月11日（現地、以下同様）、金融政策決定会合を開催し、政策金利とLSAP（大規模資産購入）プログラムを据え置く一方、新たにFLP（貸出向け資金供給プログラム）の導入を発表しました。FLPは、金融機関から企業・家計への貸出を促進するために、3年間にわたって低金利（政策金利に応じた変動金利）でRBNZが金融機関に資金を供給する制度です。12月から開始されます。もっとも、9月23日の前回会合で早期のFLP導入を示唆していましたが、サプライズはありません。FLP導入による債券・為替市場への影響は限定的とみられます。

市場参加者の関心事は、RBNZがマイナス金利を導入するか否か、導入する場合それはいつなのかです。今年5月の会合でRBNZはマイナス金利の準備を進めていることを明言し、今回の会合の声明文でも「委員らは、銀行システムは年末までにマイナス金利に対応できるよう順調に準備が進んでいると述べた」、「必要に応じて追加の金融刺激策を提供するために利下げする準備ができていることに委員会は同意した」などと記載されており、マイナス金利政策の導入に意欲的な様子が見えられます。また、FLPによる資金供給が変動金利で実施されることは、近い将来の利下げを視野に入れているからだと推察できます。今年3月に導入された「少なくとも12カ月間は政策金利を0.25%で据え置く」とのフォワード・ガイダンスが今回の会合でも維持されていることを考慮すると、現時点では来年の4月か5月の会合でマイナス金利政策の導入が発表される可能性が高いと考えています。ただ、流動的な部分も多いとみられるため、新型コロナウイルス問題からの経済の回復状況などを見極めていく必要があります。

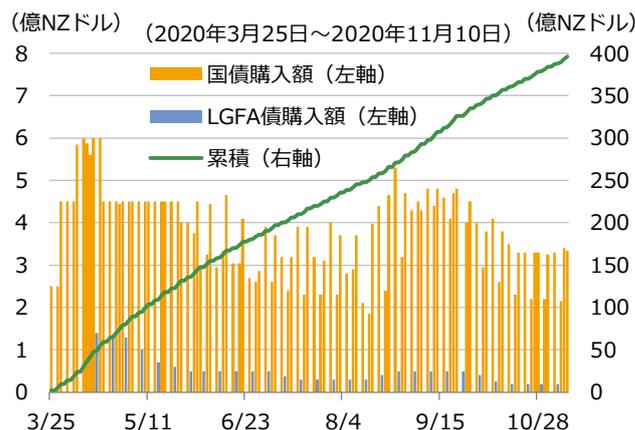
ニュージーランドの国債利回りと政策金利



※政策金利は決定日ベース
※国債利回りは2020年11月10日までのデータ

(出所) ブルームバーク

RBNZによる国債・LGFA債の購入額



※LSAPプログラムにおける購入額を集計
※LGFA債・・・地方自治体資金調達機関債

(出所) RBNZ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。